

Title	満州語文語における程度の高さを表す副詞について
Author	山崎, 雅人
Citation	人文研究. 56 巻, p.141-153.
Issue Date	2005-03
ISSN	0491-3329
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	Publisher
Publisher	大阪市立大学大学院文学研究科
Description	金児暁嗣教授 : 豊田ひさき教授 : 芝原宏治教授退任記念

Placed on: Osaka City University Repository

満洲語文語における程度の高さを表す副詞について

山 崎 雅 人

満洲語文語において、程度が高いことを表す表現には、alimbaharakū, ambula, asuru, cingkai, dembei, faksa, hon, jaci, labdu, labdukan, mujakū, nokai, umesi, wahi などがある。これらは「大いに、極めて、頗る、とても、甚だ、非常に」などと訳され中心的な意味を共有する一方で、修飾対象の選択の範囲、形容詞用法との差異、否定的意味の有無や特定の語彙との共起などの面で、機能的な差違が見られる。

本稿では、上記の副詞を①汎用語 umesi ②形容詞「多い」の意味を持つ語 ambula, labdu, mujakū ③特化語 alimbaharakū, asuru, cingkai, dembei, hon, jaci, nokai ④例が僅少の語 faksa, labdukan, wahi の4種に分類し、各々の例を挙げつつ特徴を考察した。

なお、『三合語録』(1829)の蒙古語文語との対訳では、「多い」という意味で対応する labdu が蒙古語文語の yeke にあたる以外は、語源的に関係のあると見られる asuru や dembei に対しても、多様な訳語をあてていることが分かった。

1. はじめに

満洲語文語において、程度が高いことを表す表現には、alimbaharakū, ambula, asuru, cingkai, dembei, faksa, hon, jaci, labdu, labdukan, mujakū, nokai, umesi, wahi などがある。これらは「大いに、極めて、頗る、とても、甚だ、非常に」などと訳され中心的な意味を共有する一方で、修飾対象の選択の範囲、形容詞用法との差異、否定的意味の有無や特定の語彙との共起などの面で、機能的な差違が見られる。

程度の高さは、概して話者の主観によるので、それぞれの語は話者の心的態度に応じた意味領域を有すると考える。これらの語について、小説・会話書と老檔という、文体の異なる文献からの用例を分析し、その語彙素性を明らかにするのが本稿の目的である。また、併せて tanggū meyen を収める『三合語録』(1829)の満蒙対訳¹の使用例で、こうした満洲語文語の語彙的特徴がどのように反映されているかも見ることにする。

2. 程度副詞の分類と用例の分析

本稿では、上記の副詞を①汎用語②形容詞「多い」の意味を持つ語③特化語④例が僅少の語の4種に分類し、各々の例を挙げてその特徴を考察する。²

2.1. 汎用語

umesi は、修飾する述部の種類、文体の別を問わず最も広く用いられる。特に inu (その通り) との共起例がよく見られ、慣用句となっていたと考える。

- (1) genggiyen han geli ujiki seme cihalafi ujihe be dahame, ere fusi iogi
 Genggiyen 汗 また 助命したいと 欲して 助命した ために 「この 撫西 遊撃
 be umesi akūbume ujiki,
 を 大いに 心をつくして 養いたい」：祖 Vol.6-57/58
- (2) mao wen lung be buci, sini yuwanšuwai be sindafi unggire, tuttu bci,
 毛 文 龍 を 与えれば 汝の 元帥 を 放って 送ろう そうならば
 nikan umesi lakcambi kai,
 明国とは 確かに 断絶するぞ：祖 Vol.31-11/12
- (3) u da nure be alime gaifi hendume, deo -i gisun umesi inu,
 武 大は 酒 を 受け取って 言うに 「弟 の 言う事は 本当に その通りだ
 sini gisun be bi gemu dahara sefi,
 お前の 言葉 に 俺は 全て 従う」と言って：金 Vol.2 14b1-2
- (4) beye girume yerteme teme loktorakū ofi, baturu haha ajige el ge be
 自ら 恥をかい 落ちていていられなくなり 豪傑 小二哥 を
 umesi fancabuha.,
 いたく 怒らせた：金 No.2 16a3-4
- (5) ere gese hūktame halhūn de, ta seme tuwanjire ton akū jaka
 こんな むしむしする 暑さなのに 絶えず 見舞いにおいで下さり たくさんの 物を
 banjibuhengge, ambula šadaha, umesi baniha,
 持ってきて下さり さぞ お疲れでしょう どうも ありがとうございます
 : T No.72 vol.3 27a4-6
- (6) sini gisurerehenge umesi inu,
 あなたの 言う事は 誠に その通りだ：啓 No.1 2a2-3
- (7) sini boo tehengge umesi goro
 あなたの 住居は とても 遠い：啓 No.16 14b4-5

否定辞と並ぶと全面否定になる。

- (8) sini gūwa gisun be kemuni donjici ombihe, enenggi ere gisun
 お前の 他の 話 は まだ 聞いてもいいのだが 今日の この 話は
 umesi donjire de icakū : 金 No.1 12a7-8
 とても 聞く気 にならない
- (9) ere juwe inenggi beye umesi cihakū,³
 この 両 日 身体が とても 不調だ：啓 No.33 28b2-3

蒙文訳では masi, yeke をあてる例の他、tung, yeru が見られる。⁴

- (10) sini jihengge umesi sain : 蒙文 irengsencini masi sayin (212b)
 あなたが 来たことは とても 良い 来た あなたの とても 良い
- (11) tere boo teci ojurakū, umesi doksin : 蒙文 yeke doksin (108b)
 あの 家は 住めない とても ひどい とても ひどい

- (12) ere udu inenggi ulan fetere de wa su umesi ehe : 蒙文 tung moohai (134a)
 近頃 溝を 掘っているが、臭気が とても 悪い 非常に 不潔な
- (13) jingkini bengsen be tacire de umesi mangga bime : 蒙文 ten yeru berba (143b)
 良い こと を 学ぶのは とても 難しい ので 概して 難しい

2.2. 形容詞「多い」の意味を持つ語

以下の3語は、英語の much のように、数量用法と程度用法の両方の意味に用いられるもので、数の多さという具体的意味と程度の高さという抽象的意味の連想が考えられる。調査した用例で見る限り、その程度副詞としての用法の度合いは語彙毎にまた文献毎に様々である。

2.2.1. ambula

老檔では、行為や動作を表す動詞と並ぶと「多く・沢山」を表し、数量の意味が主である。⁵ 他方、量化表現がそぐわない思考や感情を表す動詞とでは、程度用法に用いるという違いが見られる。満文小説では、喜怒感情を表わす動詞と共起することが多く、より口語的な文体において副詞としての使用が主である状況が見られる。

- (14) dahara daharakū be suwe inu ambula seolehe de sain kai,
 降る 降らない を 汝らまた 大いに 考慮したら 良いぞ : 祖 Vol.6-31/32
- (15) geren gemu ambula injecehe,,
 人々は 皆 大いに 笑った : 金 No.1 16b4-5
- (16) si men king tere gisun donjifi, ambula golofi hehe -i emgi ebuhu sabuhū
 西 門 慶はその言葉を聞いて 大変 驚き 女と一緒に 大慌てで
 ilifi etuku etufi,
 起き 衣服を 着て : 金 No.1 13b2-3
- (17) si elemangge ere gese keike baita jabuhangge, ambula tašarahabi
 あなたが かえって こんなに 不正を やったとは 甚だ 間違っていた
 : T No.33 vol.2 10b2-3

否定辞と並ぶと全面否定を表す。

- (18) beye yalihangga bime etuhun, udu gebu tucike gise hehe bicibe,
 体は 肥えていて ずっしりして たとえ 名のある 妓女であれ
 edun biyai baita, pan gin liyan de ambula isirakū,
 風 月のことは 潘 金 蓮 に とても 及ばない : 金 No.9 5a8-9

蒙文訳では、「多い」の意味から yeke が用いられる。

- (19) ere gese hūktame halhūn de, ta seme tuwanjire ton akū jaka
 こんな むしむしする 暑さなのに 絶えず 見舞いにおいて下さり たくさんの物を

banjibuhengge, **ambula** šadaha, : 蒙文 kurgəkuni yeke joboba, (146a)
 持ってきて下さり さぞ お疲れでしょう 届ける 大いに 苦しむ

- ②① juwe ujuŋga meihe emken sabuha, **ambula** golofi, homin -i meihe be
 二つ 頭の 蛇を 一匹 見た とても 驚いて 鉄 で 蛇を
 juwe meyen obume lashalame sacifi, : 蒙文 yeke aigat (53a)
 二 条 となして 断ち 切って 大いに 驚き

2.2.2. labdu

老檔では数量表現の用例のみで、⁶ 満文小説や会話書では数量用法と並んで程度用法が見られることから、後者のための使用範囲は、ambula ほどは広くなかったと見られる。

- ②① tere aikabade beye aššarakū oci, ere baita labdu erecuke,,
 あの女が もし 体を動かさなければ この事は 大いに 望みがあります
 : 金 No.3 5b8-9
- ②② jalan -i niyalma ulin, jiha de labdu aššambi,
 世の中の 人は 財 錢 で 大変 心が動くものだ : 金 No.4 8a2-3
- ②③ tuttu ohode, labdu gebu elgin de holbobuhabi,
 このように すれば 大いに 名声 に 関わります : T No.44 vol.2 26a2-3
- ②④ bi labdu hukšemi,
 私は 大変 感謝しています : T No.72 vol.3 27b2

否定辞と並ぶ場合、全面否定となる。⁷

- ②⑤ sini beye geli laju, labdu acanarakū,
 あなた自身も 太っているので まったく 似つかわしくない : T No.18 vol.1 25b1-2
- ②⑥ ini gūnin labdu icakū yasa buling bulinjame,
 彼は 心中 大層 穏やかならず 目を 見張って : T No.34 vol.2 12a2-3
- ②⑦ sakda niyalma si labdu ume jobošoro, bi genehe de ini cisui
 ご老人 あなたは まったく 心配なさらぬように 私が 参ったら 自ずから
 emu gamara ba bi,,
 ひとつ 遣っていく 所が あります : 金 No. 7 16a9-17a1

蒙文訳は、ambula と同様に形容詞の意味を反映してか yeke を用いた例が多いが、tung も用いられる。

- ②⑧ ini gūnin labdu icakū oci yasa sefi, buling bulinjame, : 蒙文 teoni sanandu
 彼は 心中 大層 穏やかならず 目を 見張って 考えて
 yeke dura ugei baha,
 非常に 嫌い
- ②⑨ sini tacihangge labdu nonggibuha, : 蒙文 cini sursuni
 あなたの 学んだことは 大いに 進められた あなたの 学んだことは

yeke nemeji (21b)

とても 広がって

- ③0 sini beye geli laju, labdu icakū, : 蒙文 tung cimadu
 あなた 自身 も 太ってるので、まったく 似つかわしくない 甚だ あなたに
 jokihū ugei (96b)
 適さない

2.2.3. mujakū

形容詞として老檔には「多くの」という意味の他に「不当な」としても用いられるが、³ 小説と会話書では数量表現よりも程度表現が多く、程度副詞としての使用の拡大を反映する文体的特徴と見られる。また、abka mujakū galga (天がすっかり晴れて：金 No.6 11b4) のように、自然現象の叙述にも用いられるところは、ambula, labdu に比べても程度用法の使用頻度が高いせいであろう。

もし、語源的に mujangga (果然・果たして・本当に) と関連づけられ、否定辞 akū が付いたもののできるのならば、英語の quite に似て、「予想しないくらい、とても」との意味であったと想像できるのではないかと考える。

- ③1 waka de obufi weile araha niyalma be uru arame, mujakū murime
 非 と して 罪を なした 者 を 是 と し 甚だしく 固執し
 ainu tuwancihiyambi,
 何故 正当化するか : 祖 Vol.17-19/20
- ③2 fifan fitherengge mujakū mangga,
 琵琶を 弾くのが 大層 上手だ : 金 No.10 8b7-8
- ③3 te jo el jiyei mujakū nimembi,
 今 卓 二 姐が とても 病んでいる : 金 No.1 12a6-7
- ③4 angga sencehe dacun sain de, bi mujakū beyeme tuwaha, adarame bahafi
 言葉つきも てきばきと 私は 非常に 好きになり 何とかして ~できる
 ini baru guculere seme,
 彼と 交際したい と : T No.66 vol.3 19b3-5
- ③5 aide saha seci, bi daci uthai basilara de mujakū amuran,
 何で 知った と言うならば 私は もともと つまり 剣術 に 殊の外 愛着して
 : T No.83 vol.4 10a4-5

調査した文献の範囲では、この語が否定辞と共起する例は見あたらないので、否定性については述べることができない。これは、上で語源について推測を述べたように、後述の alimbaharakū と同じく、本来この綴りが否定辞 akū を含んでいるためではないかと考える。なお、蒙文訳では、ja ugei, uner をあて、話者の判断を強調する意味を表している。

- 36) hacin hacin -i turi hūda mujakū ja : 蒙文 hara burcagiyen une ja ugei
あちこちの豆値が とても 安い 豆 値 確かに
kimda bayinai, (92b-93a)
安い ~である
- 37) bi mujakū buyeme tuwame : 蒙文 bi uner kuseji ujesen (69b)
私は 非常に 好きに なり 私は 本当に 好んで 見て

2.3. 特化語

以下の7語は、修飾する述部に関してそれぞれ特徴を有する。

2.3.1. alimbaharakū

alimbi (受ける) と baharakū (～ができない) の合成で、漢語の「不勝(～に堪えない)」の借用翻訳と見られる。好ましい行為に用いられる例が多い印象を受けるが、その「受け入れることのできる常識の範囲を超えて」という語義から、不快感を表す程度の甚だしさを表すのに使用されるのが本来の用法と考えられ、英語の awfully, terribly が本来の否定的ニュアンスから離れて口語では好ましい状況描写にも用いられるように、不快感情に用いられる表現が対極にある好感度の方へ使用範囲が広がったものとする。

- 38) abkai afabuha amba gurun -i weile be alimbaharakū amtanggai icihiyaki
天の委ねた 大 国 の 仕事 を 大いに 見事に 処理したい
: 祖 Vol.4-49/50
- 39) tere inenggi alimbaharakū halhūn ofi
その 日 あまりに 暑いので : 宗 Vol.6-29/30
- 40) alimbaharakū haji habcihiyan günin
甚だ 睦まじく 親しい 意味 : 金 No.1 1a3
- 41) sula ucuri ini puseli de jici, u da alimbaharakū kunduleme ofi
暇な 折りに 彼の 店 に 来ると 武大は 大変 恭しく接するので
: 金 No.1 39a4-5
- 42) bi yala alimbaharakū urgunjembime yertešemi
私は たまらなく 嬉しいとともに 恥じる : 啓 No.31 26b2

調査した文献の範囲では、上の mujakū で述べたように、自身に否定辞を含むせいか、この語と別の否定辞が共起する例はなく、否定性については述べることができない。なお、『三合語録』には例がひとつしかないが、蒙文訳では teskel ugei とほぼ同義の語をあてている。

- 43) ajigesu ningge inenggideri gar mar sehei banjimbi, alimbaharakū
幼小の 者どもは 日毎に ギャアギャア 言いつつ 生きる たまらなく
yangšan, : 蒙文 teskel ugei jiksiortei, (264b)
騒々しい 耐えきれず 嫌らしい

2.3.2. asuru

蒙古語文語の asuru (甚だ) の借用と見られるが、専ら否定辞と連なって否定的意味の強調に用いられるのは満洲語文語独自の特徴で、ちょうど漢語の「太」にあたると見られる。肯定表現で、好ましい行為に用いられる例も少数はある。

- (44) mimbe suwe asuru fusihūn ume gūnire,
 我を 汝は 甚だ 卑しく 考えるな : 祖 Vol.28-28/29
- (45) erin halhūn be dahame, niyangdz asuru ume gasara.,
 時候も 暑い のだから 奥さん あまり 嘆かないで : 金 No.6 2a7-8
- (46) asuru amtanggangge niyaman acame umiyesun faliha gese,
 あまりに 甘美なること 心 合わせて 帯を 結ぶ が如し: 金 No.4 4b7-8
- (47) sini beye teile waka, mini beye inu asuru cihakū,⁹ aššara be bembī,
 あなた ばかりでなく 私の 身体 も あまり 良くなく 動くのも 大儀だ
 : T No.10 vol.1 14a6-b1
- (48) damu korsorongga minde asuru gucu duwali akū emhun bithe hūlaci,
 ただ 残念なのは 私に 全然 朋友が なく 一人で 書を読んでも
 dembei simeli,
 誠に 面白くない: T No.50 vol.2 35b2-3

蒙文訳では、asuru の他に bahan, tedui を用いている。

- (49) asuru sain akū : 蒙文 asuru sayin ugei (134b)
 全く 良くない 全く 良くない
- (50) beri kemuni uhukēn gunirembi, jai asuru toktobume muterakū,
 弓が いつも 弱く 緩んでいる 又 全く 安定させられない
 : 蒙文 bahan toktol ugei
 相当 安定 ない
- (51) damu korsorongga minde asuru gucu duwali akū : 蒙文 gakca gumdahū ni
 ただ 残念なのは 私に 全然 朋友 なし ただ 残念にも
 nada tedui hani ugei (68a)
 私に それほど 友 なし

2.3.3. cingkai

会話書のみ为例が見られるため、専ら口語的な文体で用いられたと考えられる。一般的な基準からの隔たりが甚だしいことを表すため、比較される対象に言及する例が見られる。

- (52) tere banin wen, gisun hese, gūwa juse ci cingkai encu,
 彼の 資格好 言葉遣いは 他の 子 から ひどく 異なる
 : T No.25 vol.1 33a2-3
- (53) fe be amcabuha niyalma cingkai encu,
 昔を 研究した 人は 甚だ 違う : T No.55 vol.3 6a6

- 54 si minci cing kai eberi,
あなたは私より かなり 劣った：啓 No.44 53b3

否定辞との共起例は未見である。蒙文では、dang, tong, tung などを用いている。

- 55 si cing kai uttu jolhocume jilidaici : 蒙文 ci dang
あなたが ひどく このように 怒り 腹を立てるなら あなたが とても
otrtai bolhūla, (158b)
怒る ~になった

- 56 fe be amcabuha niyalma cing kai encu,
昔を 研究した 人は 甚だ 違う
: 蒙文 oltni onggureksen humun tong ūbureo (40b)
過ぎた 人は 甚だ 優れた

- 57 tere banin wen, gisun hese, gūwa juse ci cing kai encu,
彼の 姿格好 言葉遣いは 他の 子 から ひどく 異なる
: 蒙文 biši kaokedesu tung oire, (266a)
~ない 子供から とても 近い

2.3.4. dembei

蒙古語文語の delbe (徹底的に) が来源と見られるが、満洲語文語では主に人間の心情や態度の甚だしさや技能の高さなどの描写に用いられる。

- 58 usin -i erin ufarafi irgen jetere jalin dembei jobombi
田の 時 失って 民 食べる ため 大いに 苦しむ : 宗 Vol.9-5/6
- 59 saikan niyalma ficakū ficarangge dembei mangga,
美しい 人は 笛を 吹くのが とても 上手だ : 金 No.10 17b2
- 60 bi dembei kiriba,
俺は 頗る 我慢強い : 金 No.3 2b1
- 61 udu dembei habcihiyan bicibe
いかに 大層 親切で あっても : 啓 No.4 5a1

否定辞と結ぶ場合、全面否定となる。

- 62 damtun werifi jafabu serengge, gūnin de dembei acarangge waka,
質 留めて 執らせよ と言うこと 意 に 甚だ 合うこと でない
: 宗 Vol.11-25/26

蒙文訳では adabisi, demeile, tein, tung, yeke など多様な訳例がある。

- 63 niyalma baru dembei habcihiyan : 蒙文 humun tei adabisi elkisek (69a)
人 に 大変 丁寧で 人 と 真に 献身的な

- 64) emhun bithe hūlaci, dembei simeli, : 蒙文 gakcar bicik surbele demeile
一人で 本を 読んでも とても 寂しい ただ 書を 読むなら 徒に
oithartai, (68a)
心痛のある
- 65) geli umesi gosingga dembei karaba : 蒙文 basa masi urušultei
また とても 慈愛に満ち 極めて 相慈しみ合う また とても 寛容な
tein hemgaltai (41b)
そのように 庇護のある
- 66) te nimeku de hūsibufi, dembei sirke ohobi : 蒙文 tung judereji bayinai, (145a)
今 病氣 にかかって 非常に 長く患っている とても 衰弱して いる
- 67) booi dolo dembei farhūn¹⁰ : 蒙文 geriyen dotoro yeke haranggūi tula, (290a)
家の中が 非常に 暗いので 家の内 非常に 暗い なのだ
- 68) mini baru dembei sebsihiyan, : 蒙文 nadatai yeke inak yeoma (230a)
私 と 大変 親しく 私と とても 親密な こと

2.3.5. hon

漢語「很」hen (とても) を来源とすると見られる。他の程度副詞に比べて際だった特異性は、この語が専ら聞き手に対する否定的言辭として用いられることである。hon に先行する si (あなたは) がない場合でも、聞き手に話しかけていることは文脈から明らかである。また、この語も dembei と同様に老檔類に用例がなく、口語的な表現と考えられる。

- 69) si hon gūnin geren, uttu oho doro bio,
あなたは 本当に 気をまわすね そんなふうになる 訳が ありますか：金 No.7 8a2
- 70) simbe tuwaci arki nure de hon haji
あなたを 見ると 酒 に 余りに 親しみすぎだ：T No.62 vol.3 14b1
- 71) si hon hairara gese oci, uthai joo bai,
あなたが 大変 ケチケチする ようなら もう 止め だ：啓 No.13 12b6-13a1
- 72) si dabala omirakū oci, uthai sain, hon targaha de nememe ehe ombi,
あなた だけが 飲まない ならば それで 良し あまり 戒める と かえって 悪くなる
：啓 No.44 54a5-6

否定辞と並ぶと否定の強調を表す。¹¹

- 73) si men king hendume, si tede hon ume usahara.,
西 門 慶は 言う 「あなたは 彼に 決して 心を痛めないように：金 No.12 28b1
- 74) hon akdarakū oci jenduken-i mejigele,
どうしても 信じることができなければ 内密に 知らせてください
：T No.78 vol.4 4b3

蒙文訳では、dan, danci, tung などがあてられる。

- 75) hon akdarakū oci, : 蒙文 ci dan ese itegebele, (180b)
 本当に 信じないのならば あなたが 全く ~ない 信じるならば
- 76) arki nure de hon haji, : 蒙文 arki du danci duratai yeoma, (139a)
 酒 に 余りに 親しみすぎだ 酒 に 極めて 愛好する こと
- 77) hon ojarahū sehede, : 蒙文 tung dahahū ugei bolbogon, (198a)
 本当に 不可 ならば 本当に 従う ない ならば

2.3.6. jaci

否定的言辭として用いられる点は hon に似ているが、聞き手に限定されない、より広い叙述対象に対して否定の度合いが高いことを強調する。また、話し手の主観で述べると言うよりも、事実として非難されるべき甚だしさを客観的に指摘する立場から述べる場面で用いられると考える。

- 78) nikan -i dung guwe yun gebungge tungse hendume gisun jaci amban kai
 明 の 董 國 蔭 という名の 通事が 言うには 言 甚だ 大 ぞ
 seme hendume,
 と 言った : 祖 Vol.4-10/11
- 79) cai omiha hūda okini,, wang po hendume, jaci labdu ohobi,,
 「茶を 飲んだ 代金に するように」 王 婆が 言う 「余りに 多い ですよ」
 : 金 No.2 30b7-8
- 80) ele tafulaci, ele nukcikengge, jaci šosiki bai,
 忠告すれば する程 怒るといのは 何と 短気 か : T No.28 vol.2 3a6-3b1

否定辭と並ぶと全面否定になる。

- 81) te damu ere ajige haha jui -i gisun de akdafi uthai tere be, niyalma waha
 今 ただ この 少年 の 言葉を 信じて すぐ 彼 を 人を 殺した
 weile de tuhebuci, maka tondo doro jaci urhu akū semeo,,
 罪 に 落とせば 一体 正 道 甚だ 不公平ではない か : 金 Vol.9 14b7-9
- 82) jaci kooli akū secina,¹²
 全く 道理も あったものじゃない : 啓 No.11 11a3

蒙文訳では、dan(ci), dangci, tung, yeke などがあてられる。

- 83) damu anggala jaci sijirhūn : 蒙文 gakca ama dan ci šudurhū, (198b)
 ただ 口が 余りに あっさり ただ 口が とても 率直な
- 84) jaci šosiki bi, : 蒙文 dang ci doksin bolba, (157a)
 とても 短気だ 本当に 強情で あった

- ⑧5 sabuha dari baibi gejing seme nadame gairengge, jaci derakū bai,
 見る 度 ただ しつこく くれくれという 大変 厚かましい
 : 蒙文 tung nuur baraji boi, (233b)
 とても 面目を つぶす
- ⑧6 damu turgun akū niyalma be holtorongge jaci ubiyada,,
 ただ 理由 なく 人 を 欺くことは とても 悪い
 : 蒙文 kumuni hoorhūni yeke jikšuortai yeoma,, (204b)
 人 だます 誠に 嫌悪すべき こと

2.3.7. nokai

老檔や小説、他の会話書に例を見ず、tanggū meyen のみ ja (容易な) に先行して使用されている。連辞表現として定着していたものと見られる。否定辞との共起の例は未見である。

- ⑧7 ubaliyambure be tacici, nokai ja dabala
 翻訳 を 学ぶのは とても 易しい でしょう : T No.39 vol.2 18a6
- ⑧8 ehe demun inde nokai ja
 悪事を 覚えるのは 彼には とても たやすい : T No.77 vol.4 2b5

蒙文訳では、tung, yeru を見る。

- ⑧9 nokai ja, : 蒙文 tung kimdaha yeom, (123b)
 とても 易しい とても たやすい こと

2.4. 例が僅少の語

以下の三語は、これまでの語と比べて、老檔を始めとして小説や会話書での用例がきわめて少ないか、全く見られないもので、非常に限定された使用条件を持つか、または辞書のみに見る廃語であった可能性が考えられる。

2.4.1. faksa

faksa dosika (どんどん進んだ)、faksa bayaka (大変富んだ) という語句が『清文彙書』(1786)に見られるが、程度副詞としての用例は未見である。faksa jili (猛烈な怒り) という表現があるので、¹³ 英語の awfully, terribly のようなプロセスによる意味の展開と推測される。

2.4.2. labdukan

形容詞としては「やや多い」を意味するが、程度表現としては唯一満文小説に例がある。¹⁴ labdu からの類推と考える。早田 (1998 : 565) が述べるように、majige が辞書の「少し」という記述と違って実際は「少くくらは、できれば大いに」を意味するように、口語的表現として labdukan が口調を和らげるとともに、意味するところは「とても・たっぷり」であっ

たと考える。¹⁵

90) minde labdukan sain,
俺と とても 仲がいい：金 Vol.1 16a7

2.4.3. waihai

『清文彙書』(1786)が項目を立て、waihai sain (很好・とてもよい)とするのみで、用例は未見である。廃語かと推測される。

3. おわりに

最後に『三合語録』に、ここに挙げた副詞のうち4語が近いところに使われている文脈を挙げる。

91) te nimeku de hūsibufi, dembei sirke ohobi, sikse bi tuwanaha de
今 病気にかかって とても 長患いとなった 昨日 私が 見舞った時、
kemuni katonjame cin-i boode jifi, mini baru age jime
無理をして 表座敷まで 来て 私に 向かって「大兄 おいで下さって
joboho kai, ere gese hūtame halhūn de, ta seme tuwanjire
ご苦労でした このように むしむしする 暑さなのに 絶えず 見舞いにおいで下さり
ton akū jaka banjibuhengge, ambula šadaha, umesi
たくさんの物を持ってきて下さり さぞ お疲れのことでしょう 本当に
baniha, inu niyaman hūncihin -i dolo siren tatabume ofi,
ありがとうございました これも 親戚 の つながりがある
uttu dabala, hetu dalba oci, geli mimbe gūnire isika bio,
からで 他人だった ら また 私を 思って 来てくれる でしょうか
bi labdu hukšemi,
私は 大変 感激しています：T No.72 vol.3 27a2-b2

これらをどれも同じように、程度の甚だしさを表す副詞と見ることもできようが、そこには書き手の場面毎の選択が働いたと考える。すなわち、病苦という否定的意味に dembei を用い、量の多さを含意する ambula を用いて相手が費やした労苦をいたわり、直接的な感謝の言葉には汎用の umesi を用い、最後に「感激する」というやや硬い言葉には数量用法の名残のある labdu を用いていることである。それは、この言語の語彙的な広がり的一面を表していると思われよう。

[注]

- 1 厳密には同一ではなく、記載する話条に幾つか出入りがある。
- 2 出典：金（『満文金瓶梅』第1回-第12回、Chinese Materials Center 影印、1975年）、啓（『清文啓蒙』巻之二「兼漢満洲套話」、内閣文庫所蔵本）、T（tanggū meyen 漢語名『清文一百条』、東京大学図書館蔵本）、祖（『満文老檔 太祖檔』天理大学図書館所蔵写真）、宗（『満文老檔 太宗檔』天理大学図書館所蔵写真）。なお、『満文金瓶梅』の逐語対訳では早田（1998）を、また『満文老檔 太祖檔』と『満文老檔 太宗檔』の逐語対訳では『満文老檔 太祖 I』（1955）、『満文老檔 太宗 I』（1959）を参考にした。なお、蒙文との例は全て『三合語録』（天理大学図書館蔵本）による。
- 3 漢語文では「這兩日身子很不受用」とある。
- 4 蒙文はトド式蒙古文字で書かれている。今、満洲語文語の文字に倣ってローマ字翻字する。
- 5 数量用法：nei tucifi uksin suhe niyalma geceme ambula bucehe
汗 出て 甲 脱いだ 者 凍えて たくさん 死んだ：祖 Vol.1-6/7
- 6 数量用法：nikan labdu gajihabi
漢人を 多く 連れて来ている：宗 Vol.27-41/42
： bi labdu ai sere : 蒙文 bi ileo yeo keleku bui,
私は 多く 何を 言うべきか 私は 余計な 何を 言う か
- 7 次の例は、数量用法の部分否定である。漢語訳は、「我只不教他們多呵就完了」である。
： bi damu cembe labdu omiburakū oci uthai wajihā,
私が ただ 彼らに あまり 飲ませなければ それで 済む : 啓 No.44 53a3
- 8 : mujakū niyalma, be inu bi tukiyeŋi
多くの 者 を また 我が 登用して：祖 Vol.6-28/29
： gūwa mujakū niyalma be adarame tukiyeŋe
他の 不適當な 者 を どうして 登用しよう：祖 Vol.4-43/44
- 9 漢語訳は「不大甚好」である。
- 10 これは例外的に状況描写の例である。
- 11 ただし、次の例は否定の強調と言うよりは、部分否定と言うべきであろう。漢語訳は「稠々の別太清了」である。
： tumika oso hon ume genggiyen ojoro
濃いめで お飲みなさい あまり 薄くしないで下さい : 啓 No.42 40a5-6
- 12 漢語訳は「太没有規矩罷」である。
- 13 donjirakū bihe bici, eiten baita gemu akū ombihe, donjire jakade faksa jili banjifi
聴かなかつた なら 一切の 事は 全て なかったのに 聴いた のだから 猛烈に 怒って
： 金 No. 12 15b8-9
- 14 次の数量用法でも、直訳は「多めに！」だが、意味するところは「たっぷり」であろう。
： si dele fejile, labdukan menggun sime bufi tere aha be urunakū jociibu,
あなた 上 下に たっぷり お金を 賄賂にやっつて 彼 奴 を 必ず 片づけてよ
： 金 Vol.10 2b2-3
- 15 この例文でも、日本語訳として語義に忠実に「ちょっとばかり・いささか」と訳したとしても、これが一種の反語表現であり、書き手が言わんとすることは程度の高さであることは表現できよう。

[参考文献]

- 早田輝洋（1998）『満文金瓶梅訳注 第1回-第10回』第一書房，東京
 満文老檔研究会（1955）『満文老檔 太祖 I』東洋文庫，東京
 満文老檔研究会（1959）『満文老檔 太宗 I』東洋文庫，東京

【2004年9月22日受付、10月15日受理】